

## 結果の要約

### 1 職業

広島県の15歳以上就業者数(1,398,474人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業員」が408,336人(15歳以上就業者数の29.2%)と最も多く、次いで「事務従事者」が262,608人(同18.8%)、「販売従事者」が204,506人(同14.6%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が16,829人(14.0%)増、「保安職業従事者」が1,125人(4.1%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が6,990人(17.0%)減、「農林漁業作業員」が6,174人(9.4%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が35.0%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が32.7%、「販売・サービス関係職業」が26.5%、「農林漁業関係職業」が4.3%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.0ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ0.6ポイント、0.5ポイント、0.3ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業員」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業員」

### 2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.0時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が48.5時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が44.8時間、「管理的職業従事者」が44.4時間などとなっている。平成12年と比べると、「農林漁業作業員」が0.1時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が2.2時間減、「販売従事者」が1.9時間減などとなっている。

### 3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が322,869組(夫婦数711,290組の45.4%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が216,346組(同30.4%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業員」である夫婦が35,113組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の10.9%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業員」、妻が「事務従事者」である夫婦が31,584組(同9.8%)などとなっている。

### 4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は365,266世帯(住宅に住む一般世帯1,107,830世帯の33.0%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は742,564世帯(同67.0%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が270,700世帯(同24.4%)、「女性のみ」の世帯が156,592世帯(同14.1%)、「幼児と女性のみ」の世帯が63,885世帯(同5.8%)となっている。

図1 広島県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

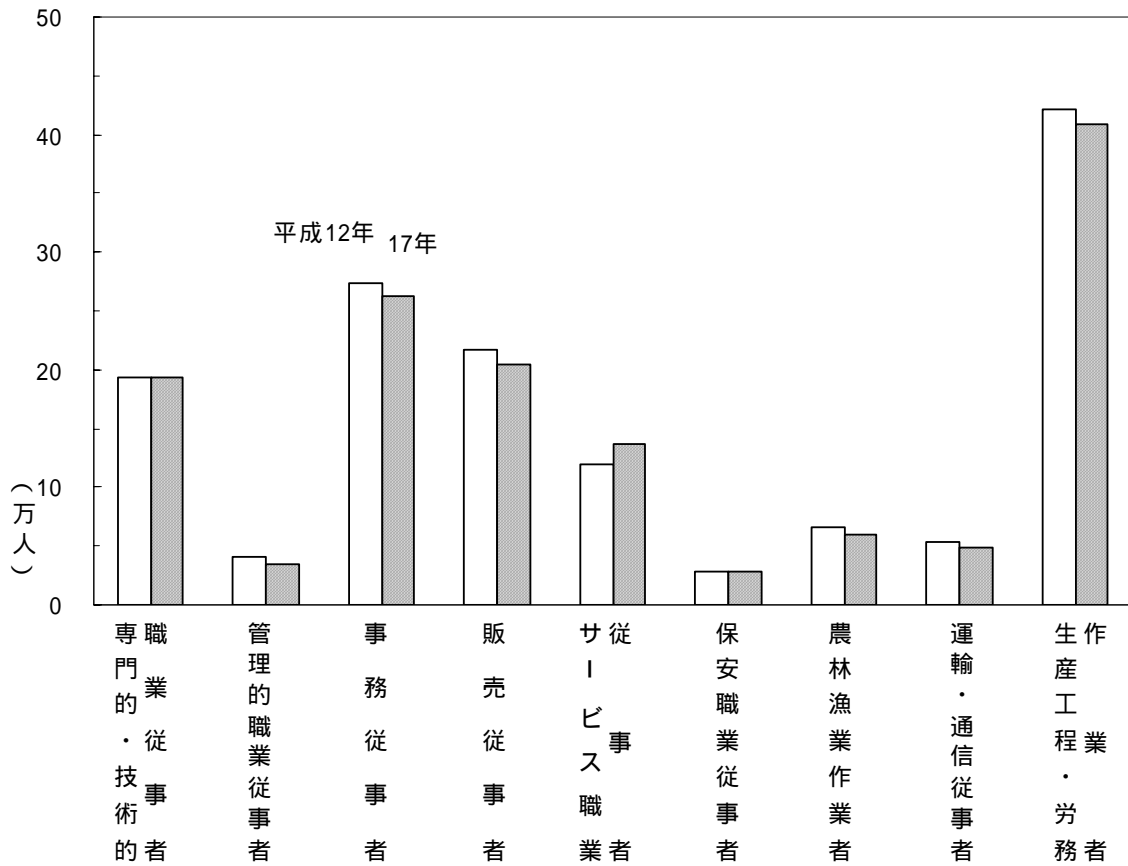


図2 広島県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

